

たかお治久^{はる ひさ} 後援会 会報 NO.4

■発行日／平成23年1月 ■編集発行／鷹尾治久後援会 ■後援会連絡所／カネカ労組高砂支部内

平成22年9月当選後の所属と主な活動

所 属

- 所属会派 : 民主クラブ（代表の横山義夫議員、福元昇議員、鷹尾の3名）
所属常任委員会 : 総務常任委員会
所属特別委員会 : 総合計画検討特別委員会
議会選出各種委員会委員 : 国民健康保険運営協議会委員

- 会派は、同じ働く者の代表として労働組合より擁立された議員の集まる【民主クラブ】に籍を置くこととしました。
- 常任委員会は、市政を広い視点から把握したいとの思いより【総務常任委員会】に所属しました。
- 特別委員会は、今後10年間の高砂市のあるべき姿を示した基本構想の審議に参加したいとの強い思いより【総合計画検討特別委員会】に所属しました。

主な活動

- 定 例 議 会 : 9月議会 (9/17～10/5)、12月議会 (12/6～12/17)
総 務 常 任 委 員 会 : 定例議会で付託された様々な案件について、必要に応じて都度開催し議論してきました。
総 合 計 画 特 別 委 員 会 : 8回出席。第4次総合計画基本構想（案）について、議員の立場からチェックし審議してきました。
国民健康保険運営協議会 : 4回出席。主に国民健康保険の財政状況のあり方についての議論に参加してきました。
そ の 他 : 毎年、市内各地域で開催されている行政と市民の意見交換の場「地域ミーティング」（11/15～11/25、計8回開催）に聴衆として全てに出席しました。

鷹尾治久後援会 会長 林 靖二 副会長 大森 幹治 副会長 北野 光昭 幹事 畑中 隆禎 会計 米村 智幸 監査 奈良 征岳

日常お困りの市政相談は、お気軽にお電話ください。 連絡所／TEL.079-445-2395 (カネカ労組高砂支部内)

私の【一般質問】と答弁

1) 高砂市の魅力と校庭芝生化の推進

第4次総合計画基本構想においては、現在の人口約96千人の高砂市は、人口減少社会の中でその流れをくい止め、人口維持を目指し街づくりを行おうとしています。この基本構想だけでは見えてこない高砂市の魅力を具体的に



どのように考えているのかについて、質問をしました。また、子供から大人までが集える「校庭の芝生化」を提案しました。芝生の空間は人の心を解放してくれます。校庭が芝生の学校で運動のできる環境に子供を置けることに誇りを感じられるのではないかと、行政が校庭芝生化方針を定めて実行することに他市は魅力を感じたり、ひいては市民が高砂市に誇りを感じられるのではないかと考えています。維持管理には「ボランティアをやる」と手を挙げてくれる方がいるかもしれないことや、社会との繋がりを持てる場になる可能性もあることも踏まえて提案しました。

問 高砂市を定住の地として選択させる近隣都市に勝る現時点での魅力（磁石のように引き付ける何か）は。

答 近隣と比べ水道料金が安い、待機児童がゼロである、学童保育が全校区にある、市民病院、文化会館、体育館等のスポーツ施設や地区ごとの公民館などの公共施設が多くあることなどが考えられる。

問 今後創造したい魅力は。

答 安全・安心に暮らせるまちをつくり、歴史・伝統を踏まえた生活に文化性を持たせていくことが必要と考えており、今回の総合計画では、健康、環境、文化をキーワードとして、将来都市像である生活文化都市を目指している。

問 未だ近隣市町村が実施していない市内全学校の校庭芝生化は、魅力の一つになると思うがどうか。

答 学校での導入状況、施工方法や使用状況等について、先進地の状況を調査し、維持管理方法、経費についても研究していきたい。

2) 財政好転の策は？

問 現在の財政状況トレンドを好転させる取組みは何か。財政も家計も同じ。少子高齢化社会を迎えている今日、財政負担は益々大きくなっていく。平成26年までの収支バランスは13億円強のマイナス見込み。今までに無い新たな取組みが必要と思うが、あるのか、またある場合、それは何か。

答 第4次高砂市行政改革大綱の実施計画を着実に実施していくことが最も重要であり、随時、新たな項目を追加し、実施計画を補強していきたい。

3) 産業発展と市民生活の調和を考えた策は？

民間企業で働く人々は非常に厳しい競争社会の中で徹底的に知恵を絞り、生き残りをかけて戦っています。これらの人々の発想や情熱を肌で感じ、知恵をお借りする形で連携することが、この高砂市が魅力ある街に変わっていく一つの手段ではないかとの思いから、この質問をしました。

問「産業発展と市民生活の調和」について行政の取組みにはどういったことがあるのか。どういった関係を構築し、どういった連携をとろうとしているのか。

答過去から臨海部の企業誘致を積極的に図り、播磨臨海工業地帯の中核都市として発展してきた経緯があり、現在も準則条例や産業集積促進、産業活力再生などの地区指定を行い産業の振興について促進を図っている。また、多くの市民が臨海部の企業で働き、地域の活動においても企業での知識と経験を発揮されているものと考えている。

4) 次代につながる環境にやさしいまちづくりについて

全ての面について、現代は「持続可能な仕組み」が大切と考えています。そのテーマの一つは地球環境に対する取組みと考え、この質問をしました。

問「次代につながる環境にやさしいまちづくり」への取組みがあるとすればどんなことか。

答現在実施中の取組みに加え、地球温暖化対策実行計画の策定を機に、住民や事業者へも啓発を行うとともに、市としても計画を実現するための施策を多方面から検討していく予定である。

5) 安全で快適な社会環境整備

人が生きていく上で安全は基本です。日々の生活の中で気がついた「危険」の改善はできるだけ早く、対応する必要があります。その為には信号の設置や歩道確保、ルール制定も必要ですが、いくら立派なルールを制定しても守らないことには全く意味がありません。本来、守るべきルールが守られず、危険にさらされる人々を守るために、行政と警察の連携は絶対に必要です。「その役割は警察の仕事ですから」といった発想で危険に関心にならない連携の仕組みが必要と考え、この質問をしました。

問「安全で快適な社会環境整備」について行政と警察との連携がどう行われているか。例えば、米田西小学校北側通学路では、通行禁止時間帯でも相当多くの車両が通行している。行政と警察が月に1回でも街の危険箇所や気になる点の打合わせを行い、改善を図っていくといった取組みはできないのか。

答市は侵入阻止権がないため、子どもの通学路の安全確保については、高砂警察への情報提供など連携し、取り締まり、パトロール強化をお願いしたい。

一般質問を終えて

初めての一般質問でしたが、殆ど緊張することもなく、無事に終えることができました。質問することが目的ではなく、市民の方々が“幸せになること”が目的であります。質問の答えになっていない答弁も多々あり、不完全燃焼気味ではありますが、これからは更に具体的提案をもって、建設的な一般質問を行っていきたいと感じました。

たかお治久^{はる ひさ} 後援会 会報 NO.4

■発行日/平成23年1月 ■編集発行/鷹尾治久後援会 ■後援会連絡所/カネカ労組高砂支部内

平成22年9月当選後の所属と主な活動

所 属

- 所属会派 : 民主クラブ（代表の横山義夫議員、福元昇議員、鷹尾の3名）
所属常任委員会 : 総務常任委員会
所属特別委員会 : 総合計画検討特別委員会
議会選出各種委員会委員 : 国民健康保険運営協議会委員

- 会派は、同じ働く者の代表として労働組合より擁立された議員の集まる【民主クラブ】に籍を置くこととしました。
- 常任委員会は、市政を広い視点から把握したいとの思いより【総務常任委員会】に所属しました。
- 特別委員会は、今後10年間の高砂市のあるべき姿を示した基本構想の審議に参加したいとの強い思いより【総合計画検討特別委員会】に所属しました。

主な活動

- 定 例 議 会 : 9月議会 (9/17～10/5)、12月議会 (12/6～12/17)
総 務 常 任 委 員 会 : 定例議会で付託された様々な案件について、必要に応じて都度開催し議論してきました。
総 合 計 画 特 別 委 員 会 : 8回出席。第4次総合計画基本構想（案）について、議員の立場からチェックし審議してきました。
国民健康保険運営協議会 : 4回出席。主に国民健康保険の財政状況のあり方についての議論に参加してきました。
そ の 他 : 毎年、市内各地域で開催されている行政と市民の意見交換の場「地域ミーティング」（11/15～11/25、計8回開催）に聴衆として全てに出席しました。

鷹尾治久後援会 会長 林 靖二 副会長 大森 幹治 副会長 北野 光昭 幹事 畑中 隆禎 会計 米村 智幸 監査 奈良 征岳

日常お困りの市政相談は、お気軽にお電話ください。連絡所/TEL.079-445-2395 (カネカ労組高砂支部内)